

村松志保子助産師顕彰会とは

設立経緯

村松志保子女史は、平成11年に東京都墨田区文化財調査員原島早智子氏により日暮里にある谷中墓地の碑より発掘された。

志保子女史の精神を継承し、永く後世に遺功を伝えるために、平成17年1月26日村松志保子の命日に、岡本喜代子らが発起人となり「村松志保子助産師顕彰会」（当時会長広瀬綾子）を設立した。二代目会長は、元参議院議員南野知恵子が就任した。

目的

助産師（産婆）として博愛精神に基づいた福祉活動や女性の地位向上のために活躍した村松志保子の功績を顕彰し、その精神と志に根ざした活動を現在実施している助産師あるいは、過去に活躍した助産師（産婆）を表彰する。

また、会員相互の親睦を図るとともに、村松志保子の精神と志を継承する自律した助産師の育成を支援することにより、広く地域社会の母子保健活動及びリプロヘルス&ライフに関する活動を活力あるものとし、もって国民の健康増進と福祉の向上に貢献することを目的とする。

事業

毎年、審査の上、該当する助産師に「村松志保子賞」「精励賞」「特別賞」等の表彰を行う。

助産師を記念するイベント、村松志保子の精神や志を継承するための助産師向けの研修会や勉強会等を行う。

その他、本会の目的達成に必要な事業を行う。

これまでの主な事業

2005年1月26日 村松志保子助産師顕彰会
設立総会

2005年3月8日 村松志保子顕彰碑建立
(ろうけん隅田秋光園 東京都墨田区横網)

2005年4月2日 第一回村松志保子賞等表彰式
村松志保子生誕150年記念式
以降 毎年 村松志保子賞等表彰式施行

2012年5月26日 “母子と助産師の碑” 建立
(たかおしひめじんじや高忍日賣神社 愛媛県伊予郡松前町)

2012年7月8日 村松志保子ブロンズレリーフ建立
(ろうけん隅田秋光園)

2013年3月8日 母子と助産師の日記念イベント
(青葉幼稚園 愛媛県伊予郡松前町)
安産福運大祭 (たかおしひめじんじや高忍日賣神社)
3月8日は母子と助産師の日と定め、毎年14時から
たかおしひめじんじや高忍日賣神社にて、安産福運大祭がとり行われる。

“安産福運大祭” 毎年 3月8日14時
ぜひご参加を！

村松志保子とは

現在にも誇るべき明治の自立した助産師

産婆として開業
女学校・産婆学校設立
慈善活動家

安政3年（1856）7月23日～
大正11（1922）年1月26日



安政3年（1856）、父 沼田藩御殿医 村松玄庵の長女として沼田藩の藩邸（港区）で誕生。

男兄弟三人は幼くして亡くなり、志保子は女医になる決意をし、沼田藩別邸（墨田区）で父に東洋医学を学び針術を修め、医術の研鑽を深めた。

明治9年（1876）、妹 春子の産褥熱による死亡を機に、助産師（産婆）の重要性を痛感し、済生学舎にて西洋医学を修めた後、女医ではなく産婆となった。

明治14年（1881）安生堂医院を開設し、翌15年には別科に産婆学を有する女学校淑女館を設立し女徳の向上を目指し、明治19年（1886）独立した安生堂産婆学校を設立し、豊かな教養を身につけた産婆育成にも尽力した。

また、安生堂医院では、貧困者に無料施療入院実施し、母子のために保健福祉的な慈善活動を展開した。東京産婆会においても幹部として活躍する。

大正11年（1922）66歳で亡くなる。